



ミドルクラスのリゾートも整備

モルディブ 5月15日(月)

モハメド・フセイン・シャリーフ 駐日モルディブ大使(中央右)
志村理事長を訪問し、「ハイエンドだけでなく、ミドルクラスのホテルやリゾートも整備して、需要の多様化に取り組んでおり、直行便の就航による日本人旅行者の増加を目指したい。ツーリズムEXPOジャパンへの出展に加えて、7~8月に日本の主要都市でプロモーション活動を行う予定です」と説明。志村理事長は、「ミドルクラスのリゾートなどを開発すれば、日本からの旅行需要も増えるでしょう」と応じました。



日本からも多くの旅行者を期待

韓国 5月18日(木)

チェ・ムンス 江原道知事(中央右)

平昌冬季オリンピック組織委員会のヨ・ヒョング事務総長らと“2017韓国文化観光大典訪日団”として菊間副会長を訪れ、「インフラの整備も完了して入場チケットを販売しており、日本からも多くの旅行者をお待ちしています」と期待を表明。菊間副会長は、「選手のサポーターを対象にツアーパッケージを提供していただければ、送客しやすくなります」と助言しました。



トレンドを反映した旅行商品づくりに期待

韓国 5月18日(木)

チェ・ジョン・ホ JINAIR代表取締役社長(左)

JATA本部を訪問し、「若者の間ではSNSを通じて旅行の楽しさをシェアすることがトレンドになっており、旅行会社にもそうした新たな旅行商品づくりが期待されています」と指摘。越智事務局長らは、「人気の高い方面では航空座席が不足しており、新規路線や旅行会社との共同企画なども検討していただきたい」と要請しました。

要人往来

夏休みの海外旅行シーズンも目前に迫り、「海外旅行の復活」を目指す旅行業界にとっても、いよいよ正念場の季節です。各 destinations から日本市場に向けられる視線も熱を帯びたものになってきています。



日本人旅行者の宿泊増加を目指す

エストニア 4月21日(金)

ムツォ・タルモ エストニア政府観光局局长(左)

志村理事長を訪問し、「フィンランド航空やポーランド航空の就航により、日本からバルト3国へのアクセスも改善され、フィンランドと組み合わせたツアーなどに注力している。日本人旅行者の滞在日数が短いので、宿泊数を増やしたい」と説明。志村理事長は「バルト3国のロマンチックなイメージが定着しているので、ラトビアやリトアニアを組み合わせさせてアピールしてください」とアドバイスしました。



トルコへの旅行需要を2014年の水準に

トルコ 5月11日

エクシ・ピラル トルコ航空CEO(左)

田川会長を訪れ、「日本での乗り入れ空港を成田空港から羽田空港に移すことを検討するなど、トルコを訪れる日本人旅行者数を2014年の水準まで回復させるため、様々な取り組みを進めており、JATAの協力もお願いしたい」と要請。田川会長は、「トルコ政府による安全対策をアピールして、治安面での不安を払拭すれば、送客しやすくなります」と応えました。